

外郭団体に関する情報公開資料

1 作成年月日および作成担当部署

作成年月日 令和4年10月1日

作成担当部署

大阪府八尾市 魅力創造部 観光・文化財課

2 外郭団体名等

外郭団体名 公益財団法人八尾市文化財調査研究会

外郭団体所在地 〒581-0821 大阪府八尾市幸町四丁目58番地の2 電話番号 (072) 994-4700

設立年月日 昭和・平成 57年7月1日 ホームページアドレス http://www17.plala.or.jp/zyao_maibun/

3 資本金

11,500千円(当該地方公共団体の出資割合 65.2%)

4 事業内容

5 財務状況(令和4年3月31日現在)

貸借対照表から	項目	金額(千円)			損益計算書から	項目	金額(千円)		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
		総資産	217,863	206,723			215,665	総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)	174,106
負債	197,615	186,603	190,745	(うち地方公共団体からの補助金・委託金)	(106,889)	(105,438)	(119,548)		
(うち有利子負債)	()	()	()	経常損益	△41	△127	4,799		
純資産	20,248	20,120	24,920	当期損益	△41	△127	4,799		
利益剰余金	8,748	8,620	13,420	減価償却前当期損益	491	445	5,323		

6 役職員の状況(令和4年3月31日現在)

役員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収(千円)	職員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収(千円)
9(5)	71.6		7(0)	57.8	4,942

退職手当

役員数(うち地方公共団体からの派遣者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均支給額(千円)
()		0

7 外郭団体への関与の状況

(1) 公的支援(フロー)(令和4年3月31日現在)

項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)
	前々年度	前年度	本年度	
① 補助金(助成金)				
② 利子補給金				
③ 税の減免額				
④ その他()				
小計				-
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額				
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用				
小計				-
合計				-

(参考) 委託料	34,497	27,940	19,635	市内遺跡発掘調査業務等
(参考) 指定管理料	72,392	77,498	78,725	歴史民俗資料館管理運営業務・埋蔵文化財調査センター管理運営業務

(2) 公的支援(ストック)(令和3年3月31日現在)

項目	内訳			備考(目的、内容、算出根拠等)
	前々年度	前年度	本年度	
① 損失補償契約に係る債務残高				
(将来負担額)				
(将来負担参入率)				
② 貸付金残高				
③ 出資金				
合計				-

8 地方公共団体による意見

公益財団法人八尾市文化財調査研究会は、昭和57年の設立以来、市内に散在する貴重な文化財の収集、調査・保存及び活用に努めており、これらの成果については展示や講座・講演会等を開催し、積極的に普及啓発を行っている。平成28年度に本財団が発掘調査で確認した「続日本紀」に記載のある称徳天皇と道鏡ゆかりの由義寺跡は、平成30年2月に国指定史跡になり、今後整備を進め、新たな八尾の魅力としての活用が期待されている。また、市史編纂事業においても、これまで本財団が蓄積してきた研究成果を活かしている。

今般、令和4年度の予算及び事業計画並びに令和3年度の決算及び事業報告を受けたが、いずれも適正なもの認められる。

今後も、文化財の保護及び活用に寄与するとともに、市民の文化財に対するニーズに迅速かつ確に対応し、新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行い、さらなる市民サービスの向上に努め、引き続き、より一層の効率的な事業経営をすべきものと考えている。

また、一方で、大規模開発事業の減少や職員の高齢化の現状などの諸課題を勘案し、本財団のあり方の検討を踏まえ、解散に向けた協議を進めている。

9 その他の特記事項

※公益法人及び社会福祉法人は、「5 財務状況」の各項目のうち、必要な項目について、それぞれ公益法人会計基準及び社会福祉法人会計基準における決算書類の項目名等に読み替えています（下記参照）。

公益法人

<貸借対照表>・純資産⇒正味財産合計、利益剰余金⇒一般正味財産

<損益計算書>・損益計算書⇒正味財産増減計算書

・総収入(=売上高+営業外収益+特別利益) ⇒総収入(=経常収益+経常外収益+当期指定正味財産増加額)

・経常損益⇒当期経常増減額

・当期損益⇒当期一般正味財産増減額

社会福祉法人

<貸借対照表>・利益剰余金⇒次期繰越活動増減差額

<損益計算書>・損益計算書 ⇒ 事業活動計算書

・総収入(=売上高+営業外収益+特別利益)

⇒ 総収益(=サービス活動収益+サービス活動外収益+特別収益- (事業区分間繰入金収益+拠点区分間繰入金収益))

・経常損益 ⇒ 経常増減差額

・当期損益 ⇒ 当期活動増減差額